

平成 27 年 3 月 12 日
210 会議室

平成 27 年第 5 回
立川市教育委員会定例会

立川市教育委員会

平成27年第5回立川市教育委員会定例会

- 1 日 時 平成27年3月12日(木)
開会 午後 3時30分
閉会 午後 5時00分
休憩① 午後 4時28分～午後4時29分
- 2 場 所 210会議室
- 3 出席委員 福 田 一 平 田 中 健 一
平 山 いづみ 伊 藤 憲 春
小 町 邦 彦
署名委員 田 中 健 一
- 4 説明のため出席した者の職氏名
教育長 小町 邦彦 教育部長 新土 克也
教育総務課長 栗原 寛 学務課長 大石 明生
指導課長 泉澤 太 統括指導主事 桐井 裕美
特別支援教育課長 矢ノ口美穂 学校給食課長 亀井寿美子
生涯学習推進センター長 浅見 孝男 スポーツ振興課長 井上 隆一
図書館長 小宮山克仁
- 5 会議に出席した事務局の職員
教育総務課庶務係 高木 健一 安藤 悦宏

案 件

1 請願

- (1) 請願書について

2 議案

- (1) 議案第3号 平成27年度使用立川市立小中学校特別支援学級教科用図書の採択について（追加）

3 報告

- (1) 第一小学校の校庭整備について
- (2) 平成26年度第6回学力向上推進委員会（全体報告会）について
- (3) 立川市立小学校情緒障害等通級指導学級説明会の報告について
- (4) 第6回中学生「東京駅伝」大会について
- (5) 立川シティハーフマラソン2015について

4 その他

平成27年第5回立川市教育委員会定例会議事日程

平成27年3月12日

210 会議室

1 請願

- (1) 請願書について

2 議案

- (1) 議案第3号 平成27年度使用立川市立小中学校特別支援学級教科用図書の採択について（追加）

3 報告

- (1) 第一小学校の校庭整備について
- (2) 平成26年度第6回学力向上推進委員会（全体報告会）について
- (3) 立川市立小学校情緒障害等通級指導学級説明会の報告について
- (4) 第6回中学生「東京駅伝」大会について
- (5) 立川シティハーフマラソン2015について

4 その他

◎開会の辞

○福田委員長 ただいまから、平成27年第5回立川市教育委員会定例会を開会いたします。

はじめに、署名委員の指名を行います。署名委員に田中委員、お願いいたします。

○田中委員 はい。

○福田委員長 次に、議事内容の確認を行います。本日は、請願1件、議案1件、報告5件でございます。その他は議事進行過程で確認いたします。

次に、議事進行について2点お諮りいたします。1点目でございます。立川市教育委員会第10条で会議の時間は午後4時までとなっておりますが、同条のただし書きの規定に基づき、会議時間を1時間延長して午後5時までとしたいと思っておりますが、ご異議ございませんか。

〔「異議なし」との声あり〕

○福田委員長 異議なしと認めます。ご承認いただきましたので会議を午後5時まで延長します。

次に2点目でございます。1請願(1)請願書について、は個人情報に係わる案件でございますので、非公開にしたいと思っておりますが、ご異議ございませんか。

〔「異議なし」との声あり〕

○福田委員長 異議なしと認めます。ご承認をいただきましたので、1請願(1)請願書について、は非公開として取り扱います。なお、議事進行の確認でございますが、2議案(1)議案第3号、平成27年度使用立川市立小中学校特別支援学級教科用図書の採択について(追加)から議事に入り、3報告の(1)から(5)を協議し、4その他と進めてまいります。4その他を終えた時点で暫時休憩とし、休憩後、1請願(1)請願書について、を協議いたします。

次に、出席者の確認を行います。新土教育部長、お願いいたします。

○新土教育部長 本日の立川市教育委員会定例会への出席管理職でございますが、教育部長、教育総務課長、学務課長、指導課長、桐井統括指導主事、特別支援教育課長、学校給食課長、生涯学習推進センター長、スポーツ振興課長、図書館長でございます。

◎議 案

(1) 議案第3号 平成27年度使用立川市立小中学校特別支援学級教科用図書の採択について(追加)

○福田委員長 それでは、議案に入ります。

議案(1)議案第3号、平成27年度使用立川市立小中学校特別支援学級教科用図書の採択について(追加)、を議案とします。

お手元の資料、平成27年度使用立川市立小中学校特別支援学級教科用図書一覧(追加分)をご参照願います。

泉澤指導課長、ご説明等お願いいたします。

○**泉澤指導課長** 議案第3号につきましては、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第13条に基づきまして、平成27年度使用します立川市立小中学校特別支援学級教科用図書についてお諮りするものでございます。

こちらにつきましては、平成26年8月27日に開催されました教育委員会定例会におきまして既に採択は行われておりますが、その後、絶版等で供給不能となった図書が7冊ございます。お手元の資料の中段に供給不能図書ということでお示しさせていただきました。しいて、これらの図書を採択した学校につきまして変更になりますので、ご協議いただくものです。

該当校につきましては、一番下の段の【再選定図書】採択済と書かれているものにつきましては、先ほどご説明申し上げました8月27日に既に採択されているものを改めて選んだものでございます。本日お諮りしますのは、上段にございます3種の教科用図書についてご検討いただきたいと考えています。

説明は以上でございます。

○**福田委員長** ありがとうございます。平成27年度使用立川市立小中学校特別支援学級教科用図書の採択について（追加）の説明を終了します。平成26年8月27日開催の第16回教育委員会定例会で採択されました特別支援学級教科用図書のうち、7冊が絶版により供給不能となったために再選定をし、そこにございますように算数、社会、生活の3冊を追加採択したいとのことでございます。

これより質疑及び協議に移ります。ご提案を踏まえ、ご質疑をお願いいたします。

はい、田中委員。

○**田中委員** 今、泉澤指導課長から説明がありましたように、今回、特別支援学級教科用図書のうち7冊が供給不能ということで再選定し、なお3冊が追加されたということです。これについては学校現場として児童・生徒の実態をしっかりと鑑み、なおかつそれぞれのニーズに応じた教科書を検討されたものだと思いますので、是非、採択をお願いしたいと思います。なお、これを採択した後に、児童・生徒に使わせるわけですから、是非教育効果を高め、なおかつ児童・生徒の能力の向上に資するよう、それぞれにご指導のほどよろしく願いいたします。

○**福田委員長** ほか、いかがですか。

〔「ありません」との声あり〕

○**福田委員長** それでは、平成27年度使用立川市立小中学校特別支援学級教科用図書の採択について（追加）の協議を終了します。

議案第3号、平成27年度使用立川市立小中学校特別支援学級教科用図書の採択について（追加）、をお諮りします。

ご提案のとおり承認することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」との声あり〕

○**福田委員長** 異議なしと認めます。よって、議案第3号、平成27年度使用立川市立小中学校

特別支援学級教科用図書の採択について（追加）、は承認されました。

◎報 告

（１）第一小学校の校庭整備について

○福田委員長 次に、報告に入ります。

報告（１）第一小学校の校庭整備についての報告でございます。

資料はございません。パワーポイントを用いた説明となります。

栗原教育総務課長、ご説明等お願いいたします。

○栗原教育総務課長 それでは、第一小学校の校庭整備につきましてパワーポイントを使用しまして、説明します。

第一小学校につきましては、昨年の８月、校舎が完成しまして８月末から順次、複合施設の運用を開始したところでございます。その後９月以降、現在校庭で整備している部分、以前は仮設校舎がございましたが、その仮設校舎を解体し、その後校庭整備等を順次進めてきたわけでございます。今回の第２期の工事としましてはこの内容となります。校庭整備、遊具の設置、飼育小屋、体育倉庫の設置、応急給水用の倉庫、植栽そして歩道と周囲道路の復旧となります。これにつきまして順次写真等を使いまして説明いたします。

まずこれが校舎の全景でございます。これは校庭の全景でございます。これは校舎の３階から校庭を見た部分でございます。今回のコンセプトとして緑の連続性ということがございまして、こちら側が諏訪神社でございます。この緑が校舎にもつながっているという形、またこの３階からこちら丹沢山系になるのですか富士山も一部見えて、非常に眺望も良いところでございます。これはまた別角度で３階から北西方向を見たところでございます。後ほど詳しく説明しますが、こちらのところに体育倉庫等を設置しております。校庭の端の部分にそれぞれ遊具の設置、こちらは諏訪神社でございます。これは別角度で校舎から南側を見た形となります。校庭面積は約 3,700 ㎡となります。旧校庭に比べると約 8 割の面積となりますが、以前はこの部分に花壇がかなり広くございました。その部分は屋上緑化を活用し、その分また校庭として使っているということで、実際の面積は従前のものとほぼ同様の面積が確保できているのではないかと考えられます。

それと今回の校庭整備の特徴としては、学校の芝生化がございまして。当初、学校の中央部に張るという案もございましたが、学校との調整の中で、やはり芝生は養生期間も必要になって、その場合、体育授業に支障が出るということが懸念されるということがございまして、校庭の周囲部分、このように芝生化をしているところでございます。芝生の全体面積は約 630 ㎡となります。それと、これは校舎側から西側を見たところで、少し分かりづらいのですがここに擁壁がございまして、これをよく見ていただくと北の方が少し高くなってございます。これは、西側の道路は北の方が高く南の方が低いということがございまして。校庭につきましてはフラットな状態、ただし中央部を少し高くして周囲に雨水を流すということで水はけ等の考慮をしている設計となっております。

これは個別の遊具等でございます。諏訪神社側でございますが、飼育小屋、肋木、そして雲梯です。このように設置しているところです。今の写真の続きでございますが、すべり台、ジャングルジムの設置、ここがよくわかるのですが遊具、児童が使います。ここは芝を張っていますが、もちろん児童がここの上で遊ぶこともあって、保護のためにこのような芝生の保護マットを敷いた中で芝生の育成を図ろうとしている試みでございます。それと周囲には高さ約 8m でございますが防球ネットの設置、それと社会団体等が夜間に校庭を使いますので照明が 1 基、2 基、そして校舎側にも 1 基ございますので必要な照度は保てる形となっております。こちらが南西側の角になりますが砂場をこのように設置しております。

そして遊具でブランコ、少し見づらいなのですが 3 段階の高さで鉄棒を設置しております。それと体育倉庫ですが、これは北側ですが、この建物、入口が 4 つございます。その中で応急給水用の倉庫として、こちらは約 10 トン分のペットボトルを保管して災害時に備えます。中央部が体育倉庫でございます。学校で使う様々な体育器具等をこちらに収納します。それと石灰庫とごみ置き場がこちら、今回芝生化をした関係で芝生の維持管理に必要なものについてはこちら側に収納するという形となっております。

それと植栽でございますが、これは代表的な木でございますが、アラカシ、シラカシ、タモの木、アキニレ、ケヤキ、ソメイヨシノ、ヤマボウシ、こういったものを校庭の中そして歩道の部分に植栽をする形となっております。これは校舎側のところで、こういった円形のところに植樹をしております。これは以前第一小学校にございましたシンボルツリーというかケヤキの木がございました。これにつきましては旧校庭から新しい校庭のほうに移植をしたものも中にはございます。

続きまして植栽、あとは学校の周囲を歩道を設置しますが、車道から校庭までが約 3m ございまして、1m ほどここは植栽をします。そして 2m ほどを歩道として確保する、そんな形となっております。これが諏訪神社側から見たところでございます。学校の周囲、あとで歩道の説明をしますが、こういった形で今まではここは全面的に車道でございました。ここは通り抜けができる道路で車の往来も多い所でございますが、歩道を設けることで児童の安全、これで格段に良くなると考えております。

続きましてこれも歩道でございます。第 1 期の工事では校舎のここまでが歩道が整備されておりましたが、ここは柴崎図書館のところでございますが、隅切りの角から直接諏訪神社に向かう全て歩道が整備される形となりますので、こういった安全な所を歩いて児童が登下校できる形となります。これは南側、今週に撮影したものでございまして、一部インターロッキング、植栽等の工事が進んでおりますけれど、3 月 13 日、明日が工期となりますので、明日までにはこの工事も完了する予定でございます。これは西側のところ、この先諏訪神社のお墓があって、その部分は歩道ができないですけど、ぐるっと校庭の周りは歩道が整備されます。こちらは今のところから続いているところでございます。

それと今回、建物を建てる際に、道路から水道であるとかガスであるとか、そういった切り出しを行って、かなり道路がでこぼこで悪い状態でしたので、周囲道路の全てアスファル

トの打ち直した修理道路の復旧を行っています。それとともに、これは南東側の隅切りですが、当初はここから少し出たところまで歩道としておりましたが、ここも車がこちらから左折、こちらから右折という形で、中には大型バスもここを右折して諏訪神社のほうに向かうということが分りまして、この隅切りが小さいとどうしても切り返しをしなければいけないということがございましたので、ここを1.5m下げまして隅切りを大きくいたしました。もちろんこれだけのスペースがありますので、児童が通る歩道については支障はございません。

それとこれは最後でございます。第一小学校の前身の普濟寺にございました心源庵の創立に深く関わっていただきました板谷元右衛門さんの像でございます。平成19年でしたか五十嵐栄治さんから寄贈を受けたものです。以前は体育館の裏のところにありましたが、今度は校庭のところの、もちろんボール等がぶつからないところですが、移設をして学校を見守っていただくというような形でここに移設しました。

校庭の整備、説明は以上でございます。

○**福田委員長** ありがとうございます。第一小学校の校庭整備についての報告を終了いたします。全体的に大変充実した校庭整備であると思います。

これより質疑移ります。ご報告内容を踏まえ、ご質疑をお願いいたします。

はい、田中委員。

○**田中委員** 具体的にパワーポイントを使いながら説明いただいてありがとうございます。

この校庭整備については、進捗状況としてはだいたい計画どおりにほぼ進んでいるということで理解してよろしいでしょうか。

○**福田委員長** 栗原教育総務課長、お願いします。

○**栗原教育総務課長** 申し上げたとおり、工期が明日、3月13日になっています。全体の工事は明日までに終わる予定でございますが、細かな一部手直しが入るかもしれません。それについては1週間程度、もし不具合があれば手直しを行っていきたいと考えております。

○**福田委員長** 1週間程度の手直しもあるかもしれないということでございます。

ほか、ございますか。

〔「ありません」との声あり〕

○**福田委員長** ないようでございます。第一小学校の校庭整備についての質疑及び報告を終了します。

◎報 告

(2) 平成26年度第6回学力向上推進委員会（全体報告会）について

○**福田委員長** 次に、報告(2)平成26年度第6回学力向上推進委員会（全体報告会）について、の報告でございます。

お手元の資料、学力向上を図るための啓発資料をご参照願います。

泉澤指導課長、ご説明等お願いいたします。

○**泉澤指導課長** ご説明申し上げます。平成25年度より学力向上を図るためということで、各

学校の代表の方にお集まりいただき、学力向上推進委員会を実施いたしました。平成 25 年度は各学校の主に情報交換ということを中心に行っておりましたけれども、平成 26 年度につきましては、お手元の資料の表紙に第一分科会から第三分科会ということでお示した 3 つのテーマに基づいて、5 回にわたり検討いただき、最後 6 回目にご報告をいただいたものです。本日お配りしたものがこの際にまとめております資料となっております。

表紙をめくっていただきますと裏面に、組織メンバーをお示ししております。小学校、中学校の校長、副校長、各学校の先生方ということでこのようなメンバーでさせていただきます。

2 枚目でございますが、市として推進委員会を実施するにあたりお示しいたしました市の学力向上推進プランということで、こうした課題や方向性の中でテーマを 3 つに絞りそれぞれ検討を進めたところでございます。

3 枚目から A3 判の資料になっておりますが、こちらが当日説明にあたり活用した資料です。1 枚目の表面、裏面が、「補足的な学習の時間の確保と内容の精選」ということで小学校、裏面が中学校です。小学校のほうは東京ベーシック・ドリルの活用ということ、また、指導法の工夫ということで学習支援員の活用等についてご提案をいただいているところでございます。中学校につきましては、学習支援員はもう入っておりますので、第一中学校、第四中学校等で取り組まれている実践をもとに、ご報告をいただきました。

そして A3 判の 2 枚目です。「家庭学習の習慣化に向けた保護者への啓発・連携と児童・生徒への手だて」をテーマにご検討いただいております。こちらにつきましては保護者の皆様への啓発・連携の視点、子どもたちへの手だてということでそれぞれ 4 つの取組について協議を重ねたところでございます。

最後、「学習意欲を高めるための授業の工夫・改善」ということで最終ページになっておりますけれども、こちらはいわゆる授業改善ということで、授業を支えるための基盤作りということでそこにお示しました 4 点に着目して検討を進めたところでございます。

いずれの分科会におきましても、教育委員会でこれまで進めております様々な学力向上に向けた施策を踏まえてご検討いただきました。協議の中でそれぞれ担当の先生方の参画意識というもの徐々に高まってきて、当日は小中学校の各担当の先生方が分担しながら発表をいただいたところでございます。こうした提案につきましては、次年度、各学校で実践していただく中で継承してまいりたいと考えているところでございます。

説明は以上でございます。

○**福田委員長** ありがとうございます。平成 26 年度第 6 回学力向上推進委員会(全体報告会)についての報告を終了します。

これより質疑移ります。ご報告内容を踏まえご質疑をお願いいたします。

はい、田中委員。

○**田中委員** 私からお礼を一言申し上げたいと思います。泉澤指導課長から説明がありましたように、平成 25 年度はお互いの情報交換、平成 26 年度についてはお互いに協議をしながら

ここまでしっかりまとめられたことについて敬意を表したいと思います。とりわけ第一分科会の補充的な学習の時間の確保と内容の精選、第二分科会の家庭学習の習慣化に向けた保護者への啓発・連携と児童・生徒への手だて、第三分科会が学習意欲を高めるための授業の工夫・改善、この3分科会についてこうして丁寧に取り組まれた背景としては、平成25年、26年度の立川市教育委員会の方針があります。それをしっかり具体的にそれぞれ推進委員長の先生方を中心によく取り組んでいらっしゃると思います。

それぞれ取り組んでいたものを総合的にまとめられたわけですが、その中でも画期的だと思うのは、指導法の工夫の中で3点出ています。各学校で補充システムを構築し学校全体で組織的に取り組む、個に応じた習熟度別の指導、これは従来取り組んでいて、なおかつ協議の中で大事であるということでここに出てきていますが、さらに視覚化による支援、これが非常に大事だと思います。子ども一人ひとりの学びの状況、自分なりに可視化することによって子どもたちの基礎・基本、学ぶ意欲が高まっていくんだと思います。ここでもう1つ大事なことは、可視化をする上で子どもたちの指導と評価の一体化というのがよく言われますけれども、その中で子どもたちが自分ほどの段階まで進んでいるのか、あとどれだけ努力すればいいのか、そういう点では評価規準だけではなくて基準、そういうところまで追求して、それを児童・生徒及び保護者に説明をしていくと、この可視化による支援がさらに向上するのではないかと考えておりますので、なお一層その辺の取組をよろしくお願いします。非常に一つ一つしっかり地についた確実な啓発資料で感心しております。関係の先生方よろしくお伝えください。ありがとうございます。

○**福田委員長** ほか、ございますか。教育長。

○**小町教育長** 各校から先生方、お忙しい中時間をつくっていただき、精力的に分会に分かれて議論していただきまして、テーマごとに提言という形でいただいております。今後は、私もこの会議でご挨拶で申し上げたのですが、この成果を是非各校がしっかりと受け止めて、各学校の経営方針の中に取り込んでいただいて成果を上げていただきたいということを申し上げたところでございます。

特に今、議会開会中で、先だって予算特別委員会も終わりましたが、補充的な学習の面で今、中学校の補充的な学習の予算をつけていますけれども、大変効果が上がっているということは報告の中にも出ておりますので、これに関しましては小学校についても予算計上ということでさせていただきました。これから最終日で来年度の予算の議決が行われるわけでございますけれども、予算特別委員会の段階では大変良い試みだということで可決ということになっておりますので、そういった予算をもとにしながら来年度はさらに小学校まで広げて、小中全体で学力向上に取り組んでまいりたいと考えております。

○**福田委員長** 目に見えて進歩していることに対して敬意を表します。私も長い間指導行政に携わってきましたけれども、立川市の児童・生徒の実態、課題に応じた綿密な計画に基づいて、先生方が教育委員会事務局とともに子どもたちの授業向上に寄与されていることに対してうれしく思います。是非、継続をする中でチェックをしながら、課題もあると思います。

れども、改善を図りながら今後の取組をお願い申し上げます。

○福田委員長 ほか、ございますか。

〔「ありません」との声あり〕

○福田委員長 平成 26 年度第 6 回学力向上推進委員会（全体報告会）についての質疑及び報告を終了いたします。

◎報 告

（3）立川市立小学校情緒障害等通級指導学級説明会の報告について

○福田委員長 次に、報告（3）立川市立小学校情緒障害等通級指導学級説明会の報告についてでございます。

お手元の資料、通級による指導をご希望の保護者の方へ～小学校の情緒障害等通級指導学級のご案内～をご参照願います。

矢ノ口特別支援教育課長、ご説明等お願いいたします。

○矢ノ口特別支援教育課長 それでは特別支援教育課より、去る 3 月 2 日月曜日に子ども未来センターにて開催いたしました小学校の情緒障害等通級指導学級の説明会について、報告申し上げます。

この説明会は特別支援教育実施計画に基づきまして立川市の特別支援教育について、より広く周知する機会を設けるとともに、保護者の不安軽減や疑問解消に努める一環として初めて開催したものでございます。当日は保護者 22 名、保育園、小学校の教職員 7 名、計 29 名のご参加をいただきました。終了後のアンケートでは、回収 22 件のうち 17 人の方が内容に満足したとご回答いただき、特にあすなる学級菅原先生のお話により指導の実際の様子がよく分かり参加して良かった、入級の手続きがよく分ったというご感想を多くいただきました。

今後のご要望として、入学後になるべく早くに学級見学、体験を希望するという保護者が多かったことから、児童の在籍校、通級設置校と連携を図りながら、途切れのない支援の仕組みづくりに努めてまいります。なお、お手元に配付いたしました当日の資料のほか、質疑応答の内容につきましては、今週中に市ホームページにて公開予定でございます。

報告は以上でございます。

○福田委員長 ありがとうございます。立川市立小学校情緒障害等通級指導学級説明会の報告についての報告を終了します。

これより質疑に移ります。ご報告内容を踏まえ、ご質疑をお願いいたします。

はい、田中委員。

○田中委員 報告がありましたように 17 人の方々からのアンケートを拝見して、どの方も参加して良かった、とりわけ菅原眞弓先生の指導の実際が参考になったという報告を受けて、本当にうれしく思います。今回初めて実施ということですが、その上で 2 点お伺いしたいのですが、来年度は同じ時期の 3 月に行う予定でしょうか。あるいは時期はもう少し早められるのかというのが 1 つです。

もう1つは、小学校の情緒障害等通級指導学級の中での課題がもしあれば、現在どのような課題があって、それに今後どう取り組もうとされているのか、その辺をお伺いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

○**矢ノ口特別支援教育課長** お答えします。まず開催時期でございますが、平成28年度からは、この資料にも掲載いたしましたように、特別支援教室への制度移行ということが一つ念頭でございます。まだこの小学校でどのように整備を進められるかというところまで具体的な説明ができない段階でございますが、保護者の関心も非常に高いところから、少し具体的なお話ができる時期を見計らいたいとは思っております。ただ、通級設置校、在籍校とも、この通級に関心のあるご家庭、児童の様子については、なるべく早くに把握し、また支援につなげていきたいというところは共通した思いでございますので、時期は可能であればもう少し前倒して、入学する、就学の学校が決まる頃と同じぐらいの時期には説明ができればと考えているところでございます。

もう1つ、通級の課題でございますが、ご希望も多く利用者の方も増えているところではございますが、やはり現在は通級というスタイルですので、保護者の送迎をお願いしているところです。通級設置校に在籍されている方のご利用が大半を占めている状況でございます。他校については保護者の方が連れて行きたくてもお仕事のご都合などで送迎が難しく、入級を断念されているという方もいらっしゃる聞いています。より多くの児童・生徒の支援につなげていくためにも、新たに検討されています特別支援教室への移行というのは着々と進めていければと考えているところでございます。

○**福田委員長** 田中委員、いかがですか。

○**田中委員** 課題の中に出てきているわけですが、実際こうして通級による指導を是非お願いしたい、またしていきたいと保護者が願っているながら、仕事を抱えているために子どもの送迎が難しい、その辺の課題について今後どう働きかけていかれるのか、その辺をお伺いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

○**矢ノ口特別支援教育課長** 今、委員からご指摘いただきましたように、現在はその交通費を補助するというところに奨励費という制度しかそこを補てんする術がございませんで、送迎を他の者が代わるとかという制度もございませんので、ご協力をいただく保護者のなるべくご都合のつきやすいところで指導などを組んでいただくということを設置校にご協力をお願いしているような状況でございます。また、ご希望があった場合に速やかに入級ということが難しい場合でも、在籍校でどのような支援ができるのか、通級という手段ではなく通常の学級の中でどのような工夫ができるのか、巡回相談員なども行動観察で様子を拝見しながら担任の先生などに助言をするということで徐々にカバーをしているというのが実態でございます。この辺りについては平成27年度以降、巡回相談の充実ということも考えておりますので、在籍校とも連携を図りながらやっていければと思っております。

○**福田委員長** 田中委員、いかがですか。

○**田中委員** どうもありがとうございました。

○福田委員長 先ほど特別支援教育課長から特別支援教室ということが出ましたけれども、平成 28 年度から東京都の第 3 次実施計画の中に含まれていると思いますけれども、対象は小学校です。どのように展開なさるのかというのは、通級指導学級との関わりも含めて何か構想はございますか。

○矢ノ口特別支援教育課長 まずは平成 27 年度にモデル地区を設定いたしまして、現在の通級のスタイルから教員が巡回するところを試行的にやってみたいと考えております。その中で課題を整理しつつ、平成 28 年度、どこの校区でどのように拠点校を置き、教員が何時間、どのように授業を持っていくのか、このあたりの様子を見つつ検討が必要だと思っております。いずれにしても現在の通級のスタイルというところが徐々に変わっていきますので、なるべく地域的な格差ですとか不公平感のないように拠点校の配置については検討したいと思っております。

○福田委員長 今年度拠点校については考慮し、徐々に通級から特別支援教室のほうに移行していくという形ですか。

○矢ノ口特別支援教育課長 徐々にということですが、東京都の計画では平成 30 年度までに段階的にということで、施設整備に係わる補助なども検討されているようですので、立川市でも平成 30 年度までには全小学校に配置していけたらと考えております。

○福田委員長 平成 30 年度までに 3 年間です。平成 28 年度から 3 年かけて全 20 校に特別支援教室を設置するというところでございます。

○矢ノ口特別支援教育課長 はい。

○福田委員長 分かりました。

ほか、ございますか。

〔「ありません」との声あり〕

○福田委員長 ないようでございます。立川市立小学校情緒障害等通級指導学級説明会の報告についての質疑及び報告を終了します。

◎報 告

(4) 第 6 回中学生「東京駅伝」大会について

○福田委員長 次に、報告(4) 第 6 回中学生「東京駅伝」大会についての報告でございます。

お手元の資料、体力向上について及び平成 26 年度体力向上推進委員会活動報告書をご参照願います。

泉澤指導課長、説明等お願いいたします。

○泉澤指導課長 東京駅伝大会の結果につきましては、お手元の資料の 1 の (1) でお示しさせていただきました。今回、男女別総合の時間も分りましたので、それぞれタイムについてもそちらにお示しいたしました。平成 21 年度が第 1 回ということで、途中 2 回ほど天候等の関係で中止がございましたが、このような形で過去 4 回の結果となっております。

(2) で、それぞれの年度の 10 位・20 位・30 位がどれくらいのタイムであったかということ

も参考で今回お示しさせていただきました。順位というよりもタイムということが体力向上の上では重視してまいりたいと考えておりますので、一つの目安ということですので、ご覧いただければと思います。

資料の中で2として、東京都の体力等の調査の結果をお示しさせていただきました。(1)の表につきましては、東京都の平均と立川市の平均を比較して、立川市が東京都を超えている項目について○印をうっております。様々な種目の中で○の状況をご覧いただければ一目瞭然のように、小学校ではシャトルラン、中学校の持久走というところで東京都と比べて平均が低いということになっております。

さらに(2)のところで、少し見づらい表で大変恐縮ではございますが、表はこのようにご覧いただければと思います。男子の一番左上、平成24年度と小学校1年生、この子どもが年度を追って2年生、3年生と進級していきますので、その結果が東京都と比較してどうであったのかということプラスマイナスで示しました。ですからそこに矢印でお示したような順番でご覧いただければよろしいかと思っております。網掛けはそうした意味で区別がつけやすいようにつけさせていただきましたのでご覧ください。やはり年度をまたいで見ていきましたが、例えば一番左の平成24年度小学校1年生が東京都に対してマイナス0.2回これが平均でしたけれども、年齢を重ねる中でマイナス3.4回ですので、差が開いていっているという状況で、立川市として主に持久力に係わるシャトルラン、中学校は持久走ですので単位が秒に変わりますが、そのような形でなかなか子どもたちの持久力を伸ばせていない状況が見えてきております。こうした課題を踏まえて、次年度以降も改めて体力向上に向けた取組を進めていきたいと考えているところです。

もう1つの資料につきましては、推進委員会ということで今年度、体力調査また体力向上に向けた授業について、どのように実施したのかという辺りを委員会のほうでまとめたものをお示しさせていただきました。その中に体力調査の具体的な数値も載せたページがございますので、そちらのほうをご覧いただければと存じます。

以上でございます。

○**福田委員長** ありがとうございます。第6回中学生「東京駅伝」大会についての報告を終了いたします。詳細で大変分かりやすい丁寧な資料でございますけれども、これより質疑に移ります。ご報告内容を踏まえ、ご質疑をお願いいたします。

はい、田中委員。

○**田中委員** 中学生東京駅伝大会、立川市の結果というので、結果にこだわるわけではないですが平成24年度と26年度、比較しますと女子の順位が36位から26年度は22位、男子が24年度42位から26年度は41位で順位が1つ上がっています。女子が22位で男子が41位、男子にはどういう課題があるのでしょうか。同時に、その課題に向けて平成28年度はどう取り組んでいかれるのか、その辺りをお聞きしたいと思っています。20位ぐらいに上がっていたかどうかという感じです。

○福田委員長 指導課長、お願いします。

○泉澤指導課長 今年度は選考会というものを3回実施いたしまして、その中で選手を選抜する形をとっております。以前はそうした選考会という形をとっておりませんでしたので、まずは今年度はそうした形で持久走を得意とする子どもたちをなるべく選べるようにはしております。ただ、中学校でするので部活動との関係もあるので、そうした兼ね合いの中で、本人が出たい大会と重なっているとかということもございますので、選手をどう選んでいくのかというのが一つ課題としてあると思います。

全体として今お示したような体力の傾向がございますので、こうした課題を単年度ではなかなか解決できませんので、小中連携も含めて子どもたちの体力を高めていくということが必要になるのかと考えております。

当日は午前が女子で、男子がその間待っている状態で、非常に寒い状態でした。他のチームも同じ条件ですからそれが理由とはならないと思いますけれども、見ていまして男子生徒がかわいそうだなというようなことで、レース中も雨で非常に寒い中で実施しましたので、そうした意味で子どもたちはとてもよく健闘してくれたと知っているところでございます。

○福田委員長 いかがですか、田中委員。

○田中委員 今、泉澤指導課長から課題と今後の対応を説明いただいたわけですが、参加した生徒の皆さん、大変な中でよく頑張ったなど敬意を表したいと思います。なおその上でお示しになった課題については、是非、克服できるように今から取り組んで、来年大いに期待しているところでございます。よろしくお願いします。

○福田委員長 教育長、お願いします。

○小町教育長 駅伝報告ということでございまして、田中委員がおっしゃられたとおり、中学生、本当に今回頑張ったと思っております。順位はそれぞれの自治体の取組もございまして、毎年それに影響される部分がございますけれども、私はしっかりタイムを縮めていくということが大事かと思っております。駅伝の場合は一人ひとりが1秒をどう縮めるかがポイントになるわけでございます。そういったところを子どもたちは取り組んでいただいた結果と思っております。今、指導課長から申し上げたとおり、男子は雨の中のレースということになりました。寒いし滑りやすいということでございまして、そんな中でもかなり体力的には頑張ってくれたと思っております。今後の対応につきましては、担当校長でございます立川第七中学校の渡辺校長に総括ということでまとめをお願いしております。そういったものを参考にして平成27年度はより準備も含めまして取り組んでいきたいと思っております。

そんな中でお伝えしたいことが3点ございまして、1点は、PTAの今回応援をいただいて横断幕も作成していただいて、当日もPTAの役員の方含めましてたくさん応援にかけてくれて、まさに寒い中での応援ということでございました。本当にこれは感謝申し上げたいと思っておりますし、大人のこういった応援体制が子どもたちにも教育面で大変伝わっているのではないかと考えているところでございます。

もう1点は、地域の体育協会の応援をいただきましてご指導のほうもお力をいただきまし

た。特に陸上競技でございますので陸連のご支援を賜ったということは大変大きかったと思っております。今後とも学校だけではなくてネットワーク型の学校経営でございますので、地域のそのような体育の専門の団体にご支援をいただきたいと思っております。

3点目は、特筆すべきことですが、子どもたちはレースの結果もそうですけれども、一人ひとりが、この駅伝というものをしっかりと捉えて参加していたということです。特に学校をまたぐという意味で、同じ仲間として一体感となる時間もあまりなかったわけですが、そんな中でも練習等を通して一つのチームと私はなっていたと思っております。その顕著な例が、最終ランナーがゴールするまでの間、本当に応援をしていただきました。他の団体が既に席を離れてもう帰り支度をしていて、立川の子どもたちはしっかりとスタンドに残って拍手をして応援をしていたというのが大変に印象的で、これもここに至るまでチーム立川ということで自分たちの頑張りはそうですけれども、一緒にレースをした仲間の最後の頑張りで見届けるといって、しっかりとした心が育っていると思えました。駅伝は結果を求めることですが、そういったレースに臨む態度が結果の一つだと思っております。そのようなことを是非お伝えしたいと思っております。

持久力に関しましては、体力向上の最大の課題ということで捉えております。基本計画の成果目標にも改めてここで持久力向上ということで挙げさせていただきました。それに対しましては、各校の取組を含めまして引き続き平成27年度、力を入れて取り組んでまいりたいと思っております。駅伝もその中に組み込んでいければと考えているところでございます。

○福田委員長 ほか、ございませんか。

〔「ありません」との声あり〕

○福田委員長 49区市1町、50の自治体の参加ということですが、教育長からも細かなご指摘がございましたけれども、私は、目標をしっかりと立てる、それは何でもそうだと思いますけれども、同時に立てた目標に対する評価指導計画というものが明確なものでないと、選手一人ひとりがそれを理解していないと、同時に選手個人の目標というのを立てなければならぬと思います。いろいろな面でテクニカルなことを言えばきりはありませんけれども、スタッフと選手、そして保護者が一体となったチームを今年度の課題として次年度さらに前に進めていただく、そのための啓発もお願いしたいと思っております。私は順位にこだわる気持ちはありませんけれども、是非子どもたちも目標を持ってやっていただければありがたいと思っております。

立川市の場合は、この後ご報告いただきますけれども立川シティハーフマラソン2015がありますので、そういう意味では内外に大きな影響力のある市でございますので、期待申し上げます。

○福田委員長 それでは第6回中学生「東京駅伝」大会についての質疑及び報告を終了します。

◎報 告

(5) 立川シティハーフマラソン2015について

○福田委員長 次に報告(5)立川シティハーフマラソン2015についての報告でございます。

資料はございません。口頭でのご説明となります。

井上スポーツ振興課長、ご説明等お願いいたします。

○井上スポーツ振興課長 立川シティハーフマラソン2015について、報告申し上げます。

立川シティハーフマラソン2015は3月1日に開催され、雨に見舞われましたもののハーフマラソンの部が6,467人、3kmの部が1,471人、親子ペアレースの部が200組で400人、合計で8,338人の学生や市民ランナーが健脚を競いました。

なおつけ加えますと、ハーフの部男子一般でエントリーいたしました埼玉県教育委員会所属の川内優輝さんが総合7位でございました。学生連合で青山学院所属の神野大地さんにつきましては怪我のために欠場ということでございました。

また、国営昭和記念公園みんなの原っぱではゲストに千葉真子さん、エリック・ワイナイナさんをお招きいたしまして表彰式やお楽しみ抽選会など、様々なイベントが行われました。

一方、大会運営面では公募市民ボランティアや市民の高校生による給水担当をはじめといたしまして関係団体から1,000人を超えるスタッフにご協力をいただきまして、事故なく無事に実施することができたというところでございます。今後も地域と連携をさらに高めまして参加いただく皆さんがより楽しめるよう内容の充実を図りまして、魅力的で集客力のある立川シティハーフマラソンを実施してまいりたいと思っております。

以上でございます。

○福田委員長 ありがとうございます。立川シティハーフマラソン2015についての報告を終了します。

これより質疑に移ります。ご報告内容を踏まえ、ご質疑をお願いいたします。

大変寒いといいますが荒れた天候の中でしたけれど、8,338人の全国の市民ランナーの方が参加されたわけです。大変伝統のある良い大会に成長したと私は思っています。本当にご苦労さまでございました。

○福田委員長 立川シティハーフマラソン2015についての質疑及び報告を終了いたします。

○福田委員長 次に4その他に入ります。

その他、ございますか。

〔「ありません」との声あり〕

○福田委員長 ないようでございますので、冒頭でご承認いただきました1請願に戻り、(1)請願書について、を協議します。

暫時休憩といたします。

午後 4時28分休憩

午後 4時29分再開

◎閉会の辞

○福田委員長 最後に次回の日程確認を行います。次回、平成 27 年第 6 回立川市教育委員会定例会を平成 27 年 3 月 23 日、午後 1 時半より、210 会議室にて開催いたします。

以上で、平成 27 年第 5 回立川市教育委員会定例会を閉会します。

午後 5 時 0 0 分

署名委員

.....

委員長